

市議会だより



新庁舎が完成し、令和3年3月定例会は現庁舎での最後の定例会となりました。

(令和3年3月15日 議場で撮影)

※写真撮影のため、マスクを外しています。
会議はマスクを着用して行いました。

令和3年3月定例会

主な議案等の審議結果	▶	2
一般質問	▶	5
現(旧)庁舎(3階)議事堂に感謝して	▶	10
新庁舎(5階)議事堂を紹介します	▶	12
私もひとこと	▶	14

主な議案等の審議結果

令和3年
3月定例会

令和3年3月定例会は、2月22日から3月15日までの22日間の会期で開催されました。

市長提出議案は、報告1件、専決処分の承認3件、条例案20件、単行案6件、予算案40件、人事案2件の合計72件でした。ここでは審議の結果の主なものをお知らせします。

専決処分の承認

原案可決

認第1号

専決処分の承認について(令和2年度
大館市一般会計補正予算(第13号))



条例案

原案可決

議案第4号 大館市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例案

議案第10号 大館市石田ローズガーデンに関する条例の一部を改正する条例案

議案第15号 大館市桜櫓館に関する条例の一部を改正する条例案

単行案

原案可決

議案第18号 財産の取得について

(土地 花岡町字前田22番5外13筆)

議案第19号 旧慣使用权の廃止について

(餌釣字沢115番6)

議案第20号 旧慣使用权の廃止について

(餌釣字館68番9)



補正予算案

原案可決

議案第22号 令和2年度大館市一般会計補正予算（第16号）案

＜主な内容＞

- | | |
|-------------------------|-----------|
| ・ ふるさと応援寄附基金積立金追加 | 7億4,472万円 |
| ・ 新型コロナウイルス感染症対策基金積立金追加 | 9,301万円 |
| ・ 財政調整基金積立金追加 | 1億8,328万円 |
| ・ 減債基金積立金追加 | 4億円 |
| ・ 障害者自立支援給付費追加 | 1億7,623万円 |
| ・ 生活バス路線維持費補助金 | 2億2,991万円 |

以上を含め、歳入歳出予算補正額 8億8,405万6,000円



当初予算案

原案可決

議案第41号 令和3年度大館市一般会計予算案

＜主な内容＞

- | | |
|---------------------|------------|
| ・ 大館駅周辺整備事業 | 2億986万円 |
| ・ 障害者自立支援給付費 | 20億3,227万円 |
| ・ 森林経営管理事業費 | 5,366万円 |
| ・ 新型コロナウイルス感染症対策事業費 | 1億3,747万円 |
| ・ 道路メンテナンス補助事業費 | 4億5,807万円 |
| ・ 小中学校施設維持及び改良費 | 3億5,780万円 |
| ・ 体育施設工事費 | 1億297万円 |

以上を含め、歳入歳出予算額 341億789万4,000円

3月定例会に提出された請願・陳情

継続審査

陳情第38号
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を
求める意見書の提出要請について



継続審査となっていた請願・陳情

趣旨採択

請願第5号
秋田県主要農作物種子条例の制定を求め
る意見書の提出要請について



継続審査

【請 願】

請願第3号 秋田犬会館の改修工事への助成について

請願第4号 地域医療を守り、公立病院等の維持・存続を求める意見書の提出要請について

【陳 情】

陳情第6号 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外への移転を民主主義及び日本国憲法に基づき公正に解決させるよう求める意見書の提出要請について

陳情第8号 「沖縄県民は先住民族」との国連の勧告を撤回させることを求める意見書の提出要請について

陳情第9号 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進するよう求める意見書の提出要請について

陳情第10号 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出要請について

陳情第25号 公立学校に1年単位の変形労働時間制を導入する条例制定に反対する意見書の提出要請について

陳情第30号 日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について

経済的な理由で大学進学をあきらめている高校生への「佐々木文子教育振興基金」を活用した授業料の貸与について

佐藤 芳忠 議員（市民の風）



〔問〕 2016年東台病院理事長

の佐々木文子氏は「医師や看護師を育てて」と市に1億円寄附しました。

市は佐々木教育振興基金を設置し、基金には9800万円のお金が残っています。私は去年の決算委員会、経済的な理由で進学をあきらめている高校生へ、基金から授業料を貸し付けてはどうかと提案しました。市長は、「非常によい提案だ。貧しいからと学ぶ事をあきらめる街にしない」とのことでした。授業料貸与の進捗状況について伺います。

〔市長〕 昨年の決算委員会のあとで、佐々木教育振興基金と奨学金制度の組合せを検討しましたが、そうすると在学中の授業料の総額が数百万円と高額なため、貸与では返済負担の大幅な増加につながってしまいます。文部科学省は授業料と入学金の免除または減額と併せて給付型奨

学金の大幅拡充を行う制度を実施しており、市長会等を通して、進めていくよう働きかけていきたい。経済的な負担を理由に子供たちが将来の夢をあきらめることのないよう、市独自でも様々な施策の検討を今後

も積極的に進めていくとともに、佐々木教育振興基金を活用した新たな施策の展開についても積極的に検討を続けていきたいと考えている。

〔問〕 キャリア教育に200万円も使うような事をしていけば1億円はあつという間になくなってしまいました。佐々木文子さんの一番の願いは医師や看護師を育ててほしい。これに尽きます。国立大学の授業料は53万円、6年間貸与しても300万円です。国立大学の医学部や国立大学生に絞れば、授業料の返済は緩やかです。

〔市長〕 佐々木基金は特に医学部分野に活用すべきでないかに関しては、私もそうだと考えています。医師や看護師を育てるために使うということに関しては、私も賛成です。

〔問〕 1年遅れば数人の優秀な高校生が大学に進学できません。佐々木文子基金は市長が自由に使えるお金です。二人でも三人でも高校生に授業料を貸与していただきたい。

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

新型コロナウイルス対策、経済支援の継続と、ワクチン接種体制を万全に

田村 儀光 議員（令和会）



〔問〕 新型コロナウイルスの影響で、まだ

困っている事業者、市民がたくさんいる。継続的支援が必要だと思うが、ワクチン接種について、届いたらスムーズな接種ができる体制づくりを、また、県外の人との接触が多い市長は、一番早く接種すべきだと思うが。

〔市長〕 本市のコロナ対策について、3月補正までの予算規模は95億円となっており、一定程度の支援が行われたと認識している。国では第3次補正予算を追加したところであり、本市へは約5億円の配分見込みである。コロナ対策は切れ目なく継続的に取り組む必要があることから、事業を追加して迅速かつ効果的に実施していく。ワクチン接種については、ニプロハチ公ドームを会場として計画を進めており、希望する全ての市民が受けられるような万全の体制で取り組む。私よりも高齢者の皆さんに打っていただくことが重要だ。

〔問〕 森林経営管理制度は永続的

事業であり、農林業が基幹産業である本市は、常にトップランナーとして事業を進めてほしい。市民への周知を徹底し計画の前倒しを検討すべきだと思うが。

〔市長〕 本市では森林の適正な経営管理について、トップランナーになれるよう取組を推進している。私有林1万2000ヘクタールの所有者に対し、可能な限り早期の調査完了を目指し地元説明会、戸別訪問や現地立会等に取り組んでいる。新しい制度であることから、あらゆる機会を通じて周知に努める。

〔問〕 市道岩瀬線の整備について、市道認定からはや3年、市長は10年で全面舗装する計画だと述べたが、まだ1メートルも舗装されていない。早期整備をお願いしたい。

〔市長〕 市道岩瀬線は、国の基幹ロケットの維持、発展に寄与しているという意味において、まさに国策の一翼を担っていると言っても過言ではない。我が国の安全保障を支えていることを自負し、引き続き様々な支援や参画を得ながら岩瀬線の整備を確実に推進していく。

秋田犬の里の今後の運営や、 プレミアム付商品券事業の再実施等について

柳館 晃 議員（令和会）
やなぎくわん せい



各事業者から再実施を望む声が多数ある。食タクシー事業とともにこれらの事業の再実施を検討してもらいたい。

〔問〕 秋田犬の里は、令和4年度から指定管理に移行するのか。また、移行するに当たって、飲食スペースの確保等、根本的な見直しが必要ではないか。市民が気軽に立ち寄れる施設づくりが最も重要ではないか。

〔市長〕 令和4年度に指定管理者制度への導入を予定している。回遊の核であり、起点となる秋田犬の里においても、一定程度の飲食の提供は不可欠であり、これまで不定期ではあるが、ワゴンセールやキッチンカーで飲食の提供を行ってきたが、引き続き、飲食業者の方々から御協力をいただきながら多様な飲食サービスの提供を図っていきたい。

〔問〕 プレミアム付商品券事業等の再実施について、特産品送料助成事業は実施期間を3月末まで延長することだが、プレミアム付商品券事業は、飲食業者の方々をはじめ、

〔市長〕 本市のプレミアム付商品券が高い評価を得られた要因として、飲食業・宿泊業・タクシー運代行

業を対象とした専用券を設けたことや換金手続が迅速に行われたことが考えられる。今後、商工会議所・商工会の連名で要望書が提出される予定となっており、その内容を踏まえ効果的な施策を実施していきたい。

〔問〕 おくやみ窓口の設置について、各種手続が煩雑なため、これを一本化するべきである。

〔市長〕 超高齢化社会から多死社会という新たな局面を迎えつつある。今後は、デジタル化による行政手続の簡素化など新たなサービスの提供により負担軽減に努める。

〔問〕 コミュニティ・スクールの導入に向けての問題点は。

〔教育長〕 国はコミュニティ・スクール設置を努力義務と明示し、都道府県に強い働きかけを行っている。本市も城西小以外の全小・中学校にもコミュニティ・スクール制度の導入を検討せざるを得ない事態となっている。

一般質問

大館市議会

検索

クリック

コロナ禍において、生活保護の申請時、 親族に「援助できないか」と問い合わせる 「扶養照会」はやめること

笹島 愛子 議員（日本共産党）
ささじま あいこ



ているところだ。引き続き、申請者の不利益とならないよう、適正な保護の実施に努めていく。

小・中学校の就学援助は、
コロナの影響で収入が減った時点で認定すること

〔問〕 生活保護が認定されるまでには、多くの聞き取りや、書類の提出などとても大変だ。それでも認定された人は安心できる。しかし、申請時に親族に対し「生活の援助ができないか」と問い合わせるため、申請をしづる人が多い。ところが、2月の国会答弁で田村厚生労働大臣は「扶養照会は義務ではない」と明言した。このことはとても重要だ。本市でも「扶養照会」はせずに、安心して申請してもらうよう呼びかけるべきだ。

〔市長〕 就学援助事業、受給資格の認定の可否の決定に当たり、前年の世帯の所得額により判定している。また、申請時において、前年の所得額よりも減る見込みである世帯については、見込額を申請した上での判定している。引き続き、収入が減った際にも制度の利用を周知していく。

〔市長〕 扶養能力調査は、生活保護申請者からの聞き取りや戸籍調査等により、扶養義務者を把握した上で、申請者の同意を得て実施している。こうした中、現在、扶養能力調査の見直しについて国会で議論されていることから、国の動向を注視し

市長の考える危機管理とは。
例えば、高齢化が進む中で始まっている
買物難民化など

たなか こうたろう
田中 耕太郎 議員（令和会）



はずが、降雪時は車優先になっていないか。また、歩道除雪の基準は適正か。

〔市長〕 安全な歩行者空間を確保することが大原則。可能な限り車道と歩道の除雪を同時に完了するように努める。歩道除雪の基準は状況を適時判断して対応する必要があるため、出動の判断は業者に委ねているが、安全・安心な通行環境を維持するため、適切な歩道除雪に努める。

イマージョン教育

（英語による授業）の

可能性について

〔問〕 児童生徒や先生の負担等を十分に配慮しながら、実現に向けて進めてほしい。

〔教育長〕 市では平成29年度から「小学校英語教育 大館スタンダード」の開発と教員の指導力向上に取り組んできた。既に4年前、下川沿中学校で「英語de数学」が実践され、中学校レベルの英会話力があれば、十分に学習が成立することを確認している。今後、子供たちの英語力の高まりに応じて、そのような授業の可能性も広がるものと考えている。

除雪について

〔問〕 道路は本来、歩行者優先の

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

コロナ禍に苦しむ
市民・事業者への支援について

あかし ひろやす
明石 宏康 議員（市民の風）



ないと願うものだが、多くの地域で住民同士のコミュニケーションが寸断しているのではとの懸念を感じる。

〔市長〕 本年度は感染症予防のため、マスクや消毒液などを配布しているほか、換気などの対策徹底を呼びかけている。「通いの場」や「地域共生の居場所」づくり、「友愛訪問活動」などの支援も行っている。

〔問〕 支援制度から漏れてしまっている業種はあるまいか、あるいは一時はしのぐことはできたが、将来展望のないまま苦しんでいる方がまだ多いのではないかと不安が募る。事業者のみならず、そこに働くことで対価を得て生活を営んでいる多くの市民の話でもあるため、いまだ窮地の渦中にある多くの事業者に引き続き寄り添ってほしい。

〔市長〕 最初に着手したのがマル大などの融資であり、段階的に拡充している。感染症拡大防止協力金などでも支援してきた。今後、商工会議所や商工会の連名による経済対策についての市への要望が予定されており、その内容を踏まえ、商工団体と連携しながら追加の支援策を講じていく。

〔問〕 近所同士の人間関係は、コロナ禍以降顕著に希薄化している。市内には多くの町内会があるため、必ずしも全ての地域がこの限りでは

花岡温泉を市民保養所に

そうま えみこ
相馬 エミ子 議員（市民の風）



〈問〉 花岡温泉が令和2年12月末で休止した。年間約3万人が利用していただけに衝撃を受けている。滑らかで肌に優しい泉質であり、惜しまれる声が届いている。地元住民だけでなく、市民の健康や生きがい、高齢者の集い場確保のためにも市民の保養所として活用してはどうか。

〔市長〕 花岡温泉は地域に根づいた温泉施設であり、花岡温泉管理運営委員会が運営していたが、高齢化等によりスタッフに欠員が生じ、継続が困難となり終了した。源泉を所有する市として、現在の土地建物を引き継ぐ新たな運営主体から相談があれば積極的に対応していきたいと考えている。

授業料を払えない大学生に 支援金を

〈問〉 コロナ禍で大学や短大を中退した学生が全国で2万5000人

にも上っている。授業料が払えない、アルバイトがなくなった等で学びたいのに学べない学生が増えている。確かに本市は「学生応援ふるさと便」として食料品等を送っているが、学生たちはとりあえず授業料を納めるための現金が必要なのだ。他市のように現金を給付する支援はできないものか。市長自身も苦労したとよく話していたことから苦学生の気持ち理解できるはずだ。市長の考えは。

〔市長〕 国では経済的支援として一人10万円を支給している。そのほか授業料の減免など「学びの支援」緊急パッケージにより支援している。本市は地場産品を提供しており、学生からは感謝のメッセージが届いている。国・県の動向を注視し柔軟に対応する。

高齢者世帯の雪下ろし等への 支援事業を利用しやすく

〈問〉 高齢者世帯の屋根の雪下ろしや間口除雪に対する支援事業を利用しやすく見直す考えは。

〔市長〕 間口除雪については4月に意向調査をしている。今後は課題や支援の必要な方の把握に努める。また、市民に分かりやすく利用しやすくし、市広報や新聞などで周知に努める。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

団塊世代が後期高齢者になる時期の 介護施策は大丈夫か

よしわら
吉原 正 議員（市民の風）



〈問〉 団塊世代が75歳以上となる2025年、進む核家族化と高齢化介護を社会全体で支える制度として発足した介護保険制度が正念場を迎える。対応は大丈夫か。

〔市長〕 2025年、本市は高齢化率42・2%に達する。8期計画では、保険料を据え置くとともに、できるだけ介護に頼らず健康寿命を延ばす健康づくりの重要性を議論した。行政、事業者、住民が協働しながら高齢者が安心して暮らせる体制づくりを目指す。

〈問〉 新型コロナウイルスでの外食自粛等により、主食米の在庫量は増加、3年度は米価下落の危機を迎える。転作拡大への国・県の対策の活用と、市も独自対策を打ち出すべきである。

〔市長〕 確実に需要に応じた作付が行われるよう集出荷業者に要請していく。重点戦略作物の支援に力を

入れ、市独自の飼料用米等作付支援事業を継続し、水田リノベーション事業は、関係機関と提携しながら取りまとめをしている。

〈問〉 新ブランド米「サキホコレ」が大館で栽培できるよう積極的な取組をするべきである。

〔市長〕 栽培実証試験を通じて作付推奨地域への編入も検討される。早期に栽培実証試験が実施されるよう県やJJAとの連携を進めたい。

竜ヶ森の展望台改修を

〈問〉 東北百名山に選定され、多くの登山者が訪れている。登山道の整備に協力している秋田ぶな森友会や市内外の登山者から山頂の展望台の改修が切望されている。

〔市長〕 現在展望台は腐食が進み使用禁止となっている。本市の貴重な観光資源として北秋田市、山岳関係者と早期の改修に向けて協議を進めている。



※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

長期化するコロナ禍の影響の中、経済支援と、市民生活の支援のため、プレミアム地域商品券の発行を

おばた しんいち
小畑 新一 議員（公明党）



〔問〕 コロナ禍で大きな打撃を受けている観光産業の支援をどう進めるか。そして、大館市内の消費量を増やすために、プレミアムをつけた地域商品券を活用すべきでは。

〔市長〕 観光については、今年度実施した事業の継続と北東北3県を対象としたマイクローリズムを推進していく。商品券については、プレミアム付商品券事業の再実施を検討している。

〔問〕 新庁舎が完成し、福祉センターが障害者支援の総合窓口となる基幹支援センターに変更になると、桂城公園と三ノ丸を結ぶバリアフリー化が重要となるが、対策は。

〔市長〕 歴史まちづくりを進める上でも、桂城公園と三ノ丸のアクセスは、非常に重要だ。桂城地下道へのエレベーター新設について、所管する国土交通省に相談していく。

〔問〕 松木地下道は、短時間の集中豪雨の際に車両が水没する。車両の水没被害防止対策として、地下道側面に水深表示板、水深表示ラインを施工すべきではないか。

〔市長〕 水深表示ラインについては、低コストでありながら、運転者からも確認しやすく効果が期待できることから「注意喚起標識」の設置と併せ、早期の施工に取り組む。

〔問〕 大館市内で受けられない、特定不妊治療を希望される方は、専門病院が遠方になる場合が多くなり、通院の交通費の助成をすべきでは。

〔市長〕 小畑議員提案の遠方への通院費用の助成については、他の助成制度とのバランスも考慮しながら前向きに検討する。

〔問〕 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の実施において、予診票の記入について、不安がある。記入内容が難しく、接種を受けられる方への支援が必要ではないか。

〔市長〕 予診票については、集団接種の際に時間がかからないよう、かかりつけ医による支援について医師会に相談しているところだ。接種会場での予診票の確認に対応する人員を多く配置し円滑に進める。

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

新型コロナウイルスワクチン接種について

とがし たかし
富樫 孝 議員（市民の風）



〔問〕 市では、新型コロナウイルスワクチン接種対策室を設置し、ワクチンの集団接種の会場や、送迎バスなどの運行を検討しているとのことだが、集団接種方式以外の個人病院での接種は可能か。

〔市長〕 短期間で集中的に、安全かつ効率的な接種が求められるため、ニプロハチ公ドームでの集団接種を基本として実施する計画である。日程や進め方は、個別接種も含め、大館市予防接種会議で協議を進めている。

移住・定住の促進について

〔問〕 コロナ禍で一極集中のひずみが出ている。政府はテレワークの推進を呼びかけ、普及もしてきている。これを好機と捉え魅力ある大館市をアピールし、移住・定住をさらに促進すべき。

〔市長〕 一極集中の是正や働き方改革は、国を挙げて進めていかなければならない大きな課題である。リモートワークは解決策の一つであり、感染症拡大で、その流れが一気に加速した。都内からの転出先は近郊3県にとどまっておらず、全国へと広がるには時間がかかるが、地方に拡大していくことは明らかである。移住体験ツアーやワーキングホリデーなどで大館の魅力を伝えてきた。さらに地域おこし協力隊には退任後の支援制度で定住を後押しする。

秋田犬保存会との連携について

〔問〕 市では、秋田犬を前面に出し「秋田犬の街大館」ということで観光行政を行っている。秋田犬保存会は、秋田犬の種の保存や復興のために昭和2年に設立された。これらの保存会との連携をどのように考えているのか。スタンスは。

〔市長〕 保存会会員の全面的な協力で秋田犬を基軸とした観光振興を積極的に推進した結果、誘客数の実績に成果が表れ、秋田犬の魅力は国内や世界各地に及んでいる。保存会との関係も一層強め、情報共有や協議をこれからも継続する。

現(旧)庁舎(3階)議事堂に感謝して

大館市役所本庁舎は昭和29年に建設、昭和51年の増築を経て現在に至りました。庁舎3階の年季の入った議事堂での定例会も、令和3年3月で最後となりました。昭和、平成、令和と約44年間、市政運営の意思決定する厳粛な場として白熱した議論が繰り広げられ、議場での本会議では、幾多の議員が熱弁を振りました。

思い出の場所を写真に収めました。



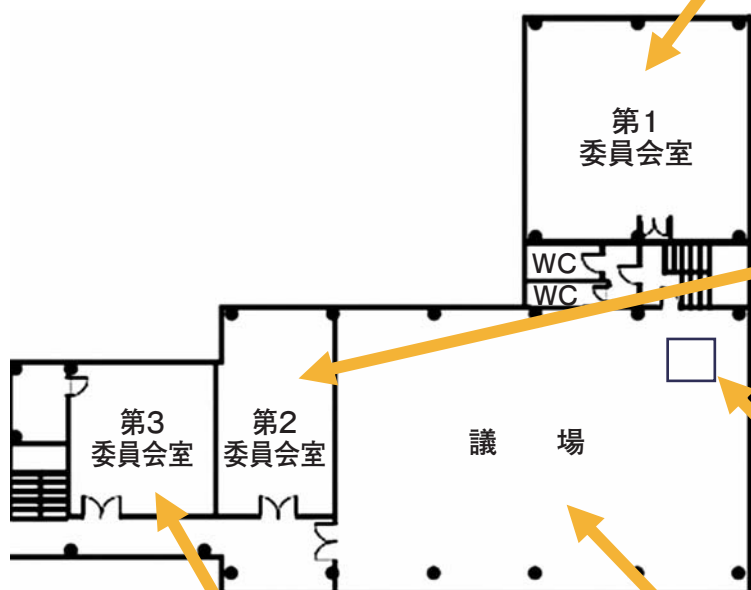
第1委員会室



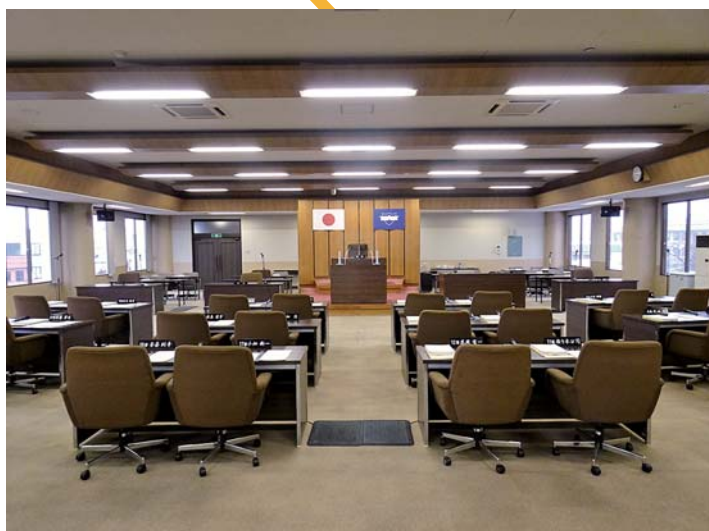
第2委員会室



傍聴受付



第3委員会室



議場



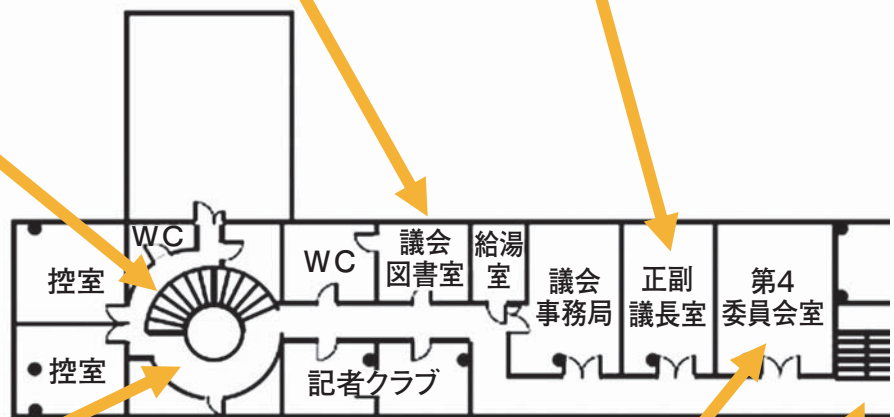
議会図書室
(兼議員応接室)



正副議長室



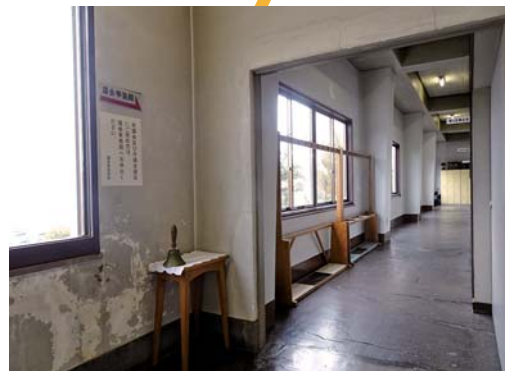
らせん階段



らせん階段から
議会事務局への廊下



第4委員会室



中央階段前の廊下

新庁舎（5階）議事堂を紹介します

新庁舎は令和2年12月に完成し、令和3年5月6日に開庁します。議事堂も新庁舎5階へと移り、新たな歴史が始まります。先輩たちが培ってきた崇高な志を新議事堂に引き継ぎ、市民に信頼される議会を目指して活動していきます。



議会図書室

図書室は、議員の調査研究のために設けられています。



第2～4委員会室 (間仕切りを外した状態)

各委員会室では、主に、常任委員会が行われます。大館市には、総務財政、厚生、教育産業、建設水道の4つの常任委員会があり、議案等を分野ごとに審査しています。



電子表決機能がついた議場マイク

電子表決システムにより表決をとることができます。

第1委員会室





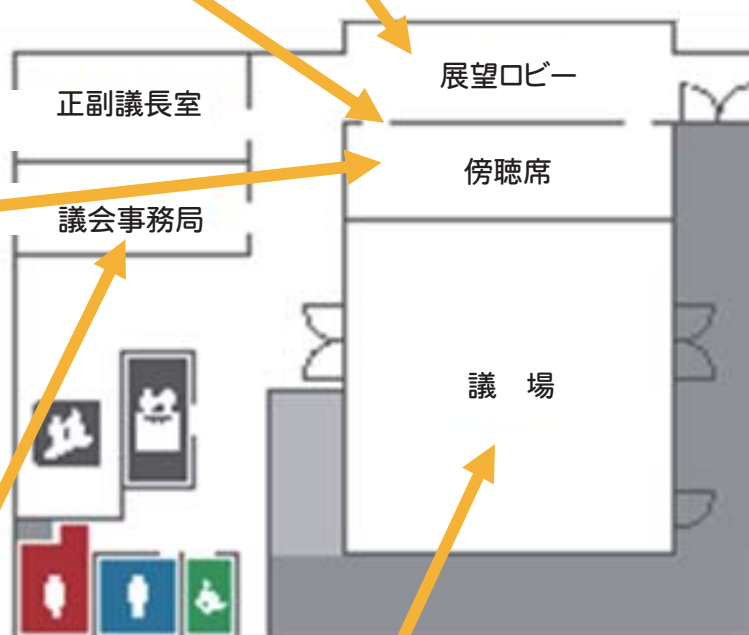
傍聴入口

本会議の様子を傍聴することができます。
傍聴については、議会事務局まで
お問い合わせください。

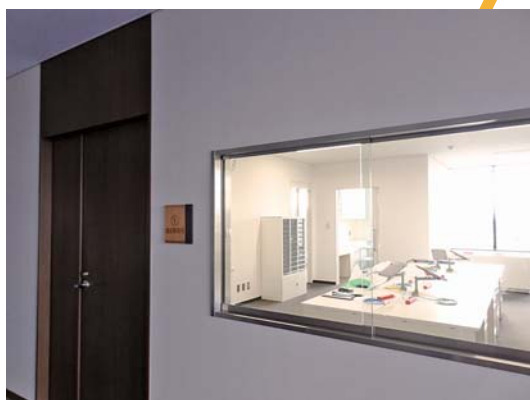


展望ロビー

展望ロビーからは鳳凰山を
望むことができます。



傍聴席



議会事務局



議 場

議場では、本会議が行われます。
壁には県産材(杉)が使用されています。

私もひ・と・こ・と 第43回

あさり まさとし
浅利 政敏さん(田町)



―子孫に美田を残さず―

50年ぶりに会った東京帰りの竹馬の友が「よくこんな人が歩かない田舎で暮してきたよなあ、偉いよ」と藪から棒につぶやいた。褒められたのかどうか戸惑ったが、有名大学を卒業し一流企業戦士として世界を股に駆けた友にとって、シャッター街の大通り、遊興街の廃りはさぞ退屈に映ったことだろう。その率直な言葉で田舎ばかりではなく今や深刻な日本の命題でもあることに気づかされた。

は子供に何を求めるのだろうか。「高学歴」「いい仕事」「高収入」、最終的には「普通の幸せな家庭」に落ち着くのだろうか、子供の進路を決める時はまず彼らの「夢」がたたき台となる。その夢の実現を目指す子供には親が冷静な俯瞰で適正や現実との擦り合わせを助言することが、最も大切なことだがこれが難しい。親は誰でも子供には楽をさせたいと願うものだが「子孫に美田を残すべからず」という諺通り財産や借金は残すべきではない。それでは何を残すか、それは教育・躾・スキルだと考えている。幸い秋田は学力は全国レベル。技術の伝承、教育と教養それと生き甲斐は一生本人の財産となるのだ。田舎には「職場がない」「給料が安い」「遊ぶところがない」とよく言われるが、豊かな自然や温泉があり、豊富な食彩も全国トップレベル、天変地異の少ない大館で暮せる幸せを子供達が再認識してほしいと思う。

百年商家の三代目、半分の50年間営業しながら歴史研究に没頭。趣味は時計、骨董、貨幣、古文書蒐集、最近はお車いじりが楽しみ。(田町町内会長)

ある偉人が「人間はパンのみで生きるに非ず」と教えた。物質物欲の他に精神的な充足が必要なのだと解釈し、それを趣味と当てはめた。世の中には思いもしない楽しみ方をしている人が多くなった。最近では山林を買って自分で伐採開拓し、キャンプと決め込む猛者もいる。ただ収集癖の趣味は多分に金銭が絡み、集めた物はどんなに高価な掘り出し物であろうと、あの世には持って行けない。つまりは令和の飯の持ち主なのだから、いつかは必ず断捨離の落ち目に会うことを承知するべきだ。毎日「生きてるうちに処分しろ」と家族からの罵声怒号が聞こえるが、生き甲斐となる趣味は片田舎でも十分に楽しめるのだ。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。
議会事務局までご連絡ください。

市議会の傍聴自粛のお願い

市議会では新型コロナウイルス感染予防として「3つの密」を避けるための対策を講じています。傍聴席も少なくするなど、制限していますので、当面の間、本会議及び各委員会の傍聴を自粛してください。

なお、傍聴する場合はマスクを着用し、議場入り口でアルコール消毒をしてください。

編集後記

昨年の市議会だより136号で、コロナ禍の問題を取上げ、早く終息することを願いましたが、その後、感染者は爆発的に増加し、8月に第2波、11月に第3波、今や都市部においては第4波が迫っております。幸い秋田県の感染者は少ないですが、変異ウイルスが増加しており、1日も早くワクチン接種が進むことを市民は望んでいます。

さて、東日本大震災から10年、いまだ避難を余儀なくされ、故郷に帰ることができない方々が多くいることを私たちは忘れてはなりません。今の時代、いつ災害が起きるとも限らないと改めて思います。



(田村 秀雄 記)